

(((Ž1))

本本のえんたく

in⁻鳥取県智頭町

日本の森林の未来を語るパネルディスカッション

~書籍「絶望の林業」から見えてくるものとは~



参加費 無料

2023年11月4日母

開演14:30(開場14:00)@智頭町総合センター1F大集会室

主催:杣塾・田中淳夫氏招へい実行委員会

協賛:(株)UPDATER(みんな電力)/橋本登志郎/ASNARO/(株)川島織物セルコン/(株)クレコ・ラボ

協力:智頭の山人塾/智頭ノ森ノ学ビ舎/智頭林業研究会/

(株)サカモト/Try's/(株)クレコ・ラボ智頭研究所

後援:智頭町/智頭町観光協会

大工体験ワークショップ

参加費無料!



場 所 会場 1Fロビー)お子様にも「木工体験」をしていただけるワークショップを、「森のえんたく」と同時開催いたします。

- ●木のモビール作り体験
- ●木のストロー作り体験 ●木のかけらすくい体験 etc...

小さいお子様も遊べる木のおもちゃもご用意。この機会に、智頭町の木材の触れてみてはいかがでしょうか。

∖特設サイトはコチラ /

運営事務局〈クレコ・ラボ智頭研究所〉 電話番号:070-6524-5390 メール:creco.chizu@gmail.com

開催概要

全国有数の林業地である智頭町で、「絶望の林業」著者の田中 淳夫さんをお招きして、 智頭の林業関係者、山本福壽塾長とのパネルディスカッションを開催いたします。

パネラー



田中 淳夫さん

日本唯一にして日本一の森林ジャーナリスト。 自然の象徴の「森林」から人間社会を眺めることで新たな視点を得られるのではないか、という思いで活動中。森林、林業、そして山村をメインフィールドにしつつ、農業・水産業など一次産業、自然科学(主に生物系)研究の現場を扱う。



山本 福壽 塾長

鳥取大学の乾燥地研究センター(乾地研)元特任教授。専門は主に樹木生理学。森林・林業の専門情報を地域社会と人々に還元すべく、智頭町にて「杣塾(そまじゅく)」を設立。現在は、地方創生や林業活性化の風を受けて智頭町と立ち上げた「智頭の山人塾」を中心に活動。



大谷 訓大さん

鳥取県智頭町で自伐型林業を営む、 「株式会社 皐月屋」代表。

自伐型林業を智頭町で普及する地域推進 組織「智頭ノ森ノ学ビ舎」会長。

地域との関わりを生む複業を進めており、 「智頭ノ森ノタンコロ薪(間伐したスギやヒノキの根元)」の販売を手がける。



國岡将平さん

合同会社MANABIYA代表社員智頭町地域林政アドバイザー大学卒業後、東京でIT企業に勤めた後、地元である鳥取県智頭町へUターンし、まちづくりから林業まで幅広い分野に参画。2020年に今後の地域の森林と人の関わり方の指針となる「智頭の山と暮らしの未来ビジョン」を行政と協働で策定。

懇親

《会終了

14:00

14:30 14:35

15:20 15:30

15:35

16:25

17:15 17:30 17:45 19:15

次 第 開場

・希望の林業へのパラダイム転換 事務局からの 事務局からの 事務局からの 表記講演(45分)

休憩

パネルディスカッションパネラー紹介(5分)

前半

を 智頭の森林の魅力と課題〈山本氏〉(20分) 智頭の森林の魅力と課題〈山本氏〉(20分) (20分)

ディスカッション(50分)

質疑応答(15分)

終 了 一旦会場を退出、懇親会準懇親会スタート

-- 「森のえんたく」とは -

それぞれの立場・役職など関係なく、自由に忖度なく森のことを語る"円"卓会議のコンセプトで行うイベントです。また、森林に関心がある様々な人たちの縁を繋げるという"縁"卓会議という意味合いも含まれています。

鳥取県智頭町は「百人委員会」や「ゼロイチ」といった住民自治や新しいことに積極的に取り組むための仕組みが根付いており、なおかつ全国有数の林業地でもあります。「森のえんたく」は、その文化的背景から自然発生的に生まれました。

翌日の 11月 5日(日)には、
「ハイカラ市」「フォトロザイニング」
といったイベントも予定されております。
これを機にぜな智頭町を満喫して
いただけたらと思います。

